

内視鏡下手術のマジックハンド「ロボット鉗子」 (コンセプトの立案から事業化に向けた取り組みまで)

博士(工学) 神野 誠

テルモ株式会社 研究開発本部
商品開発グループ 主席研究員

日 時: 2012年1月19日(木) 14:45-16:25

会 場: 東京大学工学部2号館2F 223号講義室

授業科目: 工学リテラシーⅡ(科目番号3722-130)

要旨

基礎研究や要素術開発、コンセプト立案などから手がけた研究開発成果を商品として世に出すことは、研究開発に従事する多くの者にとっての夢であろう。

演者は総合電機メーカーや医療用機器メーカーの研究開発部門に所属し、一貫してロボット・メカトロ機器・ME機器の研究開発に従事してきた。その経験に基づき、企業における研究開発の実際について講演する。一般的なロボット・メカトロ機器・ME機器の研究開発の流れを示すとともに、具体的事例として「ロボット鉗子」の研究開発がどのように立ち上げられ、進められたかを紹介することで、新しい価値を創造する研究開発の大切さを伝える。

